

保健師より

(区役所3階33番)

浪速区敷津東1-4-20
06-6647-9968






夏に流行する感染症にご注意を！

～咽頭結膜熱（プール熱）、手足口病、ヘルパンギーナ～



高温多湿を好み夏に増殖するウイルスが原因で、
せきやくしゃみ、ウイルスに触れた手を介して感染がひろがります。
6月頃から乳幼児を中心に増え始め、7～8月にピークとなります。

咽頭結膜熱(プール熱)	手足口病	ヘルパンギーナ
<p>症状 39～40℃の高熱、のどの痛み、 目の症状(充血、眼痛、目やになど) など</p> <p>◇1週間程度でおさまります</p> 	<p>症状 手のひら・足の裏などに米粒大の 水ぶくれを含む発疹、口内炎、 39℃以下の発熱、のどの痛みなど</p> <p>◇3～8日でおさまります</p> 	<p>症状 39℃以上の突然の発熱、 のどの奥に水ぶくれ(水ぶくれが破れると 痛みも伴います)など</p> <p>◇2～4日で解熱し、8日程度でおさまります</p> 

❖ 予防法は…

手洗い、うがいをしっかりしましょう。
手洗いの際は、石鹸で手をよく洗い、タオルの共有は避けましょう。

❖ かかってしまったら…

いずれも、特効薬がないため、それぞれの症状を和らげる対症療法が中心です。
症状がおさまるまで、部屋を涼しくして安静にしましょう。
のどの痛みで食欲がなくなりますが、食べられるものを少しずつ食べるようにしてください。
のどにしみる酸味の強い物や熱い物は避けるようにしましょう。

